

経済学・経済政策

令和6年度 中小企業診断士1次試験

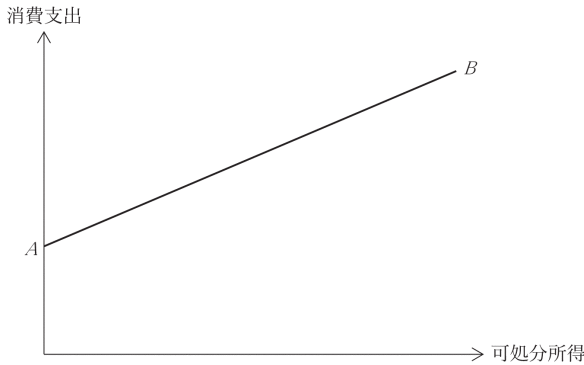
本試験 第4問

国民経済計算の考え方に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア GDPは、中間生産物の生産額の合計である。(×)
- イ GDPは、分配面から、要素所得、移転支払による所得、キャピタルゲインに区分される。(×)

本試験 第5問

下図は、ケインズ型消費関数を直線ABによって描いている。この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



- a 可処分所得が大きいくほど限界消費性向が小さくなるので、高所得者ほど所得に占める消費額の割合が小さくなる。(×)
- b 可処分所得が増加するとき、限界消費性向は一定であるが、平均消費性向は小さくなる。(○)
- c この消費関数の傾きは、1よりも大きい。(×)

本試験 第9問

日本(円)と米国(ドル)を例にして、為替レートの決定を考える。為替レートの決定に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 輸出の増加によって日本の経常収支の黒字が拡大すると、為替レートには円高ドル安の圧力が働く。(○)
- b 輸出の増加によって日本の経常収支の黒字が拡大すると、為替レートには円安ドル高の圧力が働く。(×)
- c 米国の金融資産の収益率が高くなることで日米の金融資産の収益率の格差が拡大すると、日本の金融収支は赤字になり、為替レートには円高ドル安の圧力が働く。(×)
- d 米国の金融資産の収益率が高くなることで日米の金融資産の収益率の格差が拡大すると、日本の金融収支は黒字になり、為替レートには円安ドル高の圧力が働く。(○)

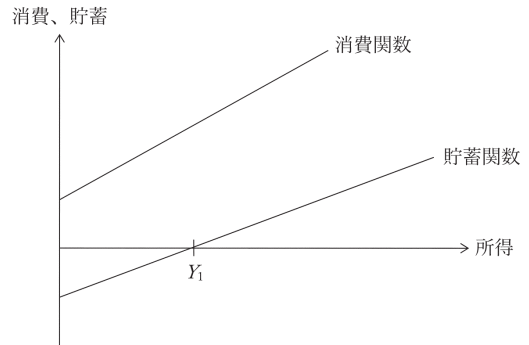
2024年合格目標 TAC教材

1次養成答練第14問

- ア GDPはある国において一定期間内に生み出される生産額の合計額である。(×)
- エ 分配面から見たGDPは、「雇用人報酬+営業余剰+混合所得+固定資本減耗+補助金-間接税」で表される。(×)

1次公開模試 第5問 (設問1)

今期の所得をY、限界消費性向をc ($0 < c < 1$)、独立消費を C_0 とし、租税を考慮しなければ、消費は $C = cY + C_0$ で書き表すことができる。下図はこの消費関数を想定し、消費関数と貯蓄関数を示したものである。この図に基づき、下記の設問に答えよ。



(設問1)

消費関数に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a 限界消費性向が上昇すると、消費関数は緩やかに描かれる。(×)
- b 所得が増加すると限界消費性向は上昇する。(×)
- c 独立消費が上昇すると、消費関数は上方へ平行移動する。(○)

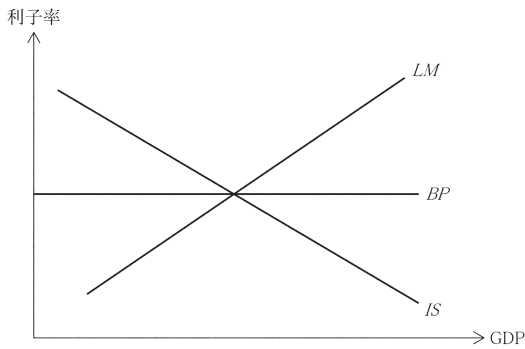
1次完成答練②第8問

為替市場に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ウ アセット・アプローチによれば、日本とアメリカの間の貿易において日本の輸入が増えると、為替レートは円高ドル安に動く。(×)

本試験 第10問

下図によって、完全資本移動かつ小国のマンデル＝フレミング・モデルを考える。政府支出拡大の効果に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。



- c この国が為替レートの変動を市場に任せるとき、政府支出を拡大させても、その効果は資本流入の増加による本国通貨高によって完全なクラウディング・アウトが生じ、本国のGDPは増加しない。(○)
- d この国が為替レートの変動を市場に任せるとき、政府支出の拡大は、為替レートを減価させ、本国のGDPを増加させる。(×)

本試験 第12問

自然失業率仮説に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- b 自然失業率仮説によると、長期的に失業率は、自発的失業を含めて、ゼロになる。(×)
- c 長期的には、政府支出の増加はインフレを抑制し、失業率を低下させる。(×)

本試験 第13問

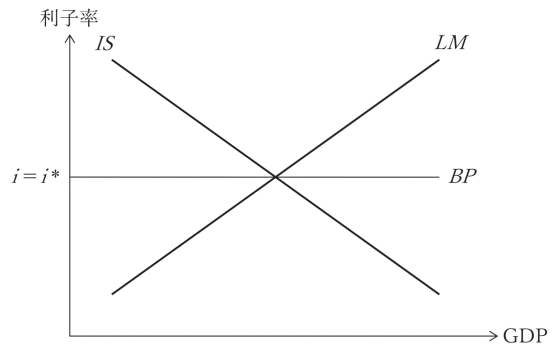
需要の価格弾力性（絶対値）に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- c ある財の需要曲線が一定の価格水準において水平である場合、この財の需要の価格弾力性はゼロである。(×)
- d ある財の需要曲線が右下がりの直線である場合、この財の需要の価格弾力性は、価格水準にかかわらず一定である。(×)

1次公開模試第11問

下図は、開放経済下におけるマクロ経済モデルを描いたものである。

いま、小国モデル、完全資本移動、変動為替レート制、物価の硬直性、静学的為替レート予想、資産効果の捨象を仮定する。下図では、これらの前提に基づき、生産物市場の均衡を示すIS曲線、貨幣市場の均衡を示すLM曲線、本国利率(i)と外国利率(i^*)の均衡を示すBP曲線が表されている。この図に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。 13



- a 政府支出の増加により、本国通貨は減価する。(×)
- b 政府支出の増加により、完全なクラウディング・アウトが生じる。(○)

1次公開模試第10問

労働市場に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a マネタリストによれば、拡張的な経済政策を実施しても、長期的には失業率を自然失業率未満の水準にすることはできない。(○)

1次完成答練①第8問

雇用・失業に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 11

- c 自然失業率仮説によると、物価上昇率と失業率の間には短期的にも長期的にもトレード・オフの関係が成立する。(×)

1次完成答練①第14問

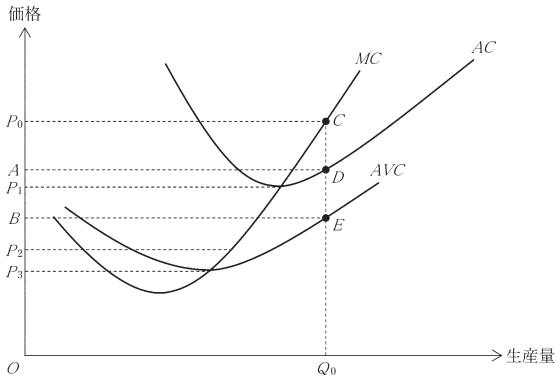
需要の価格弾力性に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 17

- a 右下がりの需要曲線上では、その需要曲線上のどの点においても需要の価格弾力性は一定である。(×)
- b 完全競争市場において、個別の完全競争企業の直面する需要曲線の価格弾力性は1である。(×)

本試験第 16 問 (設問 2)

短期の完全競争市場下における価格と企業の生産との関係を考える。下図には、ある財の生産に関する限界費用曲線 MC 、平均費用曲線 AC および平均可変費用曲線 AVC が描かれており、価格が与えられると企業は最適生産を実現するものとする。ただし、 P_1 は AC の最小値、 P_3 は AVC の最小値に対応している。

この図に基づいて、下記の設問に答えよ。

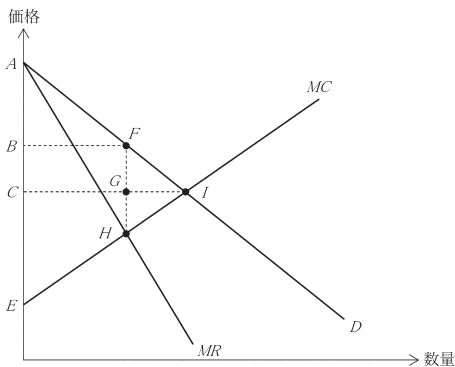


- (設問 2)
- この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。
- a 価格が P_1 のとき、企業の総収入は可変費用と固定費用の合計に等しくなる。(○)
 - b 価格が P_2 のとき、企業の損失は固定費用の一部のみとなる。(○)
 - c 価格が P_3 のとき、企業の損失は可変費用のみとなる。(×)

本試験 第 17 問

下図は、ある財の生産販売を 1 社が完全に独占した市場を示している。この財の需要曲線が D であり、 MC が生産者の限界費用、 MR が同じく限界収入である。ここで、独占企業は利潤を最大化するように、価格と生産量を決定するものとする。

この図に基づき、独占均衡に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



- a 企業は価格を C とすることで利潤を最大化できる。(×)
- b 消費者余剰は、三角形 ABF である。(○)
- c 生産者余剰は、四角形 $CEHG$ である。(×)
- d このとき生じる死荷重は、三角形 FGI である。(×)

本試験 第 19 問

家計が消費する財・サービスは、①消費が競合するかどうか(競合性)と、②対価を支払わない人の消費を排除できるかどうか(排除可能性)に基づき、下表のとおり 4 つに分類できる。表中の A と B に入る財・サービスの例として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

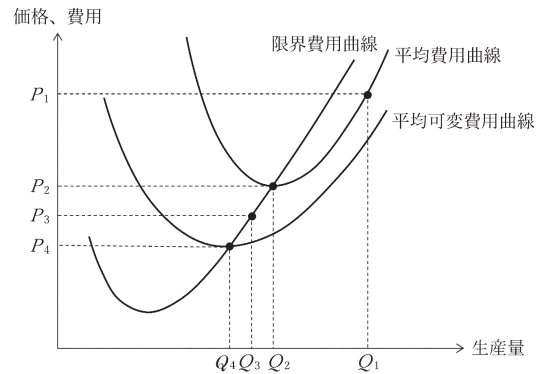
消費に関する性質	競合する	競合しない
排除可能		A
排除不可能	B	

- [解答群]
- ア A: 公海に生息する魚介類 (×)
B: 混雑現象を伴わない有料道路 (×)
 - イ A: 公海に生息する魚介類 (×)
B: 晴れた日の日光浴 (×)

経済解法テクニックゼミ第 2 問

下図には、ある製品を生産する企業の平均費用曲線、平均可変費用曲線、限界費用曲線が描かれている。この企業は完全競争市場の中で利潤を最大化するように行動している。

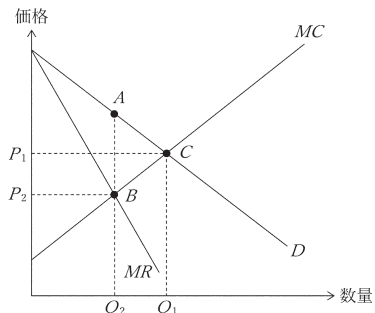
この図に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



- [解答群]
- ア 生産する製品の市場価格が P_1 のとき、生産量は Q_1 となり、この企業は黒字になる。(×)
 - イ 生産する製品の市場価格が P_2 のとき、生産量は Q_2 となり、この企業は赤字となるが、可変費用はすべて回収できるため、生産を行う。(×)
 - ウ 生産する製品の市場価格が P_3 のとき、生産量は Q_3 となり、この企業は赤字となるため、生産を行わない。(×)
 - エ 生産する製品の市場価格が P_4 のとき、生産量は Q_4 となり、固定費用はすべて回収できるため、可変費用分の赤字が発生する。(×)

経済解法テクニックゼミ第 17 問

下図は、独占市場におけるある企業の短期の状況を描いたものである。 D は需要曲線、 MC は限界費用曲線、 MR は限界収入曲線を表している。この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



- a 独占企業が利潤を最大にする生産量は Q_2 であり、そのときのこの独占企業の平均収入は P_2 である。(×)
- b 独占企業が利潤を最大にするとき、社会的に望ましい生産量のときよりもその企業の余剰は四角形 P_1P_2BC の分だけ減少する。(×)
- c 独占企業が利潤を最大にするとき、社会的に望ましい生産量のときよりも社会的総余剰は三角形 ABC の分だけ減少する。(○)

1 次上級答練第 19 問

公共財に関する記述として最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

- 13
- c 共有地は非競合性をもつが、非排除性をもたない財である。(×)
 - d 共有地は非排除性をもつが、非競合性をもたない財である。(○)

本試験 第 22 問

下表に従って、比較生産費説に基づく国際分業を考える。カカオ 1 単位を生産するのに必要な労働量は、A 国では 5、B 国では 4 である。同様に、大豆 1 単位を生産するのに必要な労働量は、A 国では 10、B 国では 2 である。労働は両国で同質で、当初はどちらの国もカカオと大豆をそれぞれ 40 単位ずつ生産していたものとする。

このような状況に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

	A 国	B 国
カカオ 1 単位当たりの労働量	5	4
大豆 1 単位当たりの労働量	10	2

- a A 国におけるカカオ 1 単位の機会費用は、大豆 2 単位である。(×)
- b B 国における大豆のカカオに対する相対価格は、A 国のそれよりも高い。(×)
- c B 国で 2 つの財の生産に必要な労働量の合計は 240 である。(○)
- d 当初の労働量を維持しながら、A 国がカカオの生産に、B 国が大豆の生産にそれぞれ完全特化したとき、各国におけるカカオと大豆の生産量はどちらも 120 となる。(○)

1 次完成答練①第 18 問

X 国と Y 国が、製品 A または製品 B を 1 個生産するのに必要な労働量が下の表のように与えられている。製品 A 1 個を生産するのに、X 国では 20 人の労働量が必要であり、Y 国では 40 人の労働量が必要である。また、製品 B 1 個を生産するのに、X 国では 4 人の労働量が必要であり、Y 国では 20 人の労働量が必要である。さらに、生産要素として労働力のみを考え、両国間で労働力の移動はないものとする。

このような状況に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

22

	X 国	Y 国
製品 A 1 個あたりの労働量	20 人	40 人
製品 B 1 個あたりの労働量	4 人	20 人

- a X 国では、製品 A の労働生産性は製品 B の労働生産性よりも低い。(○)
- b X 国は製品 B に比較優位をもち、Y 国は製品 A に比較優位をもつ。(○)
- c 1 人あたりで生産できる個数を同じ価値とすると、Y 国では製品 A 1 個と製品 B 2 個を交換することができる。(○)